



2学期の自然学校が始まる！

9月に入り、夏休みの一般利用から小学校5年生の自然学校に戻り、南但馬自然学校には、子どもたちの元気な声と笑顔が帰ってきました。1日（月）から入校してきた学校は、2学期の始業式を終え、すぐに本校にやって来て、自然学校がスタートしました。他校も、天気にも恵まれなかったせいか、ドタバタの状態です。第1週を終えました。

その上、6日（土）の16時頃の集中豪雨により、朝来山登山くまコースの⑫～⑬の間で土砂崩れが起き、道を完全にふさいでしまいました。人力では復旧できず、斜面の崩れを防ぐネットが切れ、2次災害の危険性があることから、雲海展望台までの通行を制限することとなりました。第2週利用の姫路市立広畑第二小学校は、くまコースの⑫から、きつねコースに入って下山する短縮バージョンでの朝来山登山となりました。姫路市立伊勢小学校は、くまコース⑫からきつねコース、いのししコース、うさぎコースで下山されました。予算等の関係で、早急な対応は難しいので、朝来山登山を計画されている学校は、大変申し訳ありませんが、コース変更を考えていただきますようよろしくお願いいたします。詳しくは、週担当者まで問い合わせください。



第2週は、比較的天候にも恵まれ、両校とも予定通りのプログラムを行うことが出来ました。特に、5クラス200人弱の広畑第二小学校の子どもたちの行儀の良さには、感心するばかりでした。少し早く始まった伊勢小学校の入校式時に、大屋根広場で体育座りをして静かに待ってくれました。最終日には、伊勢小学校の退校式が始まる直前まで、芝生広場で遊んでいましたが、先生の指示により、森のスポーツ広場方面に静かに移動してくれました。自然学校期間中は、気分的に緩みがちですが、入校から退校まで、ほぼ全員が落ち着いた態度で生活していました。先生方の事前指導及び日頃の徹底した生活指導の賜であり、それらに応えた子どもたちの頑張りは、本当にすごいと思いました。また、モップがけ、周りのコンクリートの掃き掃除、そしてその周りの小石拾いなど、子どもたちが森のスポーツ広場にいる間に、先生方が隅々まで丁寧に掃除をしてくださいました。先生自らが率先して、子どもたちの見本となる行動に、頭が下がる思いでした。先生方の後ろ姿を見て、子どもたちが成長している様子を垣間見ることができました。

自然学校講座、参加者の意識が高い！

大学生や教員、その他自然学校に関心のある者を対象に、8月26日（火）から28日（木）の2泊3日で、指導者入門編の自然学校講座を実施しました。参加者の感想を紹介すると、



・小学校の時にこの南但馬自然学校に来させてもらったときに、とても楽しい思い出があり、また将来このような仕事にも関わっていかれたらと思っていて、指導補助員としてどうあるべきかを学びに来ました。実際やってみて、指導をするという立場で物事を見ていったときに、先々を考えて行動する大切さ、計画通りに進めるために前もって準備する大切さを感じました。子どもたちが楽しめるように安全を第一に考え、子どもたちの視点に立って考えなければ、楽しく安全にとはなかなか難しいと思いました。何をやるにしても、仲間とのコミュニケーションや協力し合うことなど、体験しないとなかなか分からないことが再確認できて良かったです。

これから、このような感想を持った大学生が、自然学校の指導補助員として活躍してくれることを期待しています。

今年もお世話になりました！兵教組青年部サマーセミナーでのフロンティアの活動



2014 兵教組青年部サマーセミナーが、7月26日（土）から2泊3日で開催されました。2日目に教職員のための教育講座として6つの講座があり、そのうちの一つに「フロンティア」があります。一昨年は、隠れ家づくりのフィールドとなる「きつね入口横フィールド」、水中生物の観察場所となる「けるトープ」の整備、そして昨年は、雑木林内の散策路での「階段・小径づくり」の奉仕活動に取り組んでいただきました。若い先生方でパワーがあるので、広大な敷地を少ない職員で管理している本校にとっては、この活動は非常にありがたいことです。

今年は、冬場に職員で伐採した「けるトープの上の斜面」の木の片付けと生活棟前の階段の修理を依頼しました。2グループに分かれての作業となりましたが、12人で伐採した木を軽トラック2台に積み込む方は、非常に重い木もあり半日以上かかるという重労働でした。本館裏から野外キッチンに向かう道から右側にある「けるトープ」が、はっきりと見えるようになりました。また、雑然としていた場所が、すっきりと整備されました。

生活棟「ひのき」の館前の階段は、本校開設当初はなかったのですが、子どもたちがその坂を近道として利用していたので、本校施設管理員が手作りで造ったものです。一度、このサマーセミナーのフロンティアで修理しましたが、今年、再度修復作業に取り組みました。こちらのグループには、昨年度も「フロンティア」に所属されていた先生がおられ、雑木林での階段・小径づくりの経験を活かし手際よく作業を進めてくださいました。階段が崩れかかっていたのですが、見違える程、大変立派なものに仕上がりました。



また、枝切りばさみを使って、野外炊事時の焚きつけ用の薪を作ってくださいました。これらの薪は、夏休み後半の利用団体や2学期利用校に使ってもらっています。先生やリーダーさんが、なたを使って薪を細く割っていた作業が省けたと喜んでおられました。

求む！小学生による奉仕作業。作業は簡単！

一昨年度より、県立山崎高等学校森林環境科学科の生徒が、林業体験実習として本校の大木を伐採してくれています。今年は、うりぼうの森を中心に活動してくれました。本校開設当初は、1人用・5人用テントの設営場所でしたが、木が大きくなって日光が差し込まなくなり、テント泊するには不適切な場所となり、最近では自然観察や散策をするだけとなっていました。伐採をすることで、随分と陽が当たるようになりました。また、県立山の学校の生徒も、森のスポーツ広場と芝生広場の草刈りを行ってくれました。しかし、毎月のように本校での実習が出来るわけではありません。

そこで、自然学校期間中の小学生による奉仕作業をしてくれる学校を探しています。生活棟周辺には、低木が多くあります。兵教組の先生方が使用されたのと同じ枝切りばさみを使って、その低木を切る作業をお願いしたいのです。小学生でも、十分に使うことが出来ます。切った後、それらを集め、軽トラックに積み込む作業もあります。最終日の生活棟の掃除の時間、30分程度でも構いません。よろしくお願いします。

編集後記

今回は、2学期の自然学校の様子と兵教組青年部の先生方等の奉仕活動の取組を紹介しました。紙面の関係で、自然学校講座のことが詳しく掲載できず、申し訳ありません。野外炊事で、ちょっぴり楽しい企画をしましたので、次回紹介します。楽しみにしてください。

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)